



市ホームページ「市長の部屋」へどうぞ。http://www.city.shimonoseki.lg.jp/

「下関のふく」五つのなぜ

〜ふく市長キャンペーン〜



んにちは。市長の中尾友昭です。下関市最大のブランド「ふく」。その情報発信のため日本で唯一ふく処理師の資格を持つ市長の私が「ふく市長」となり、トップセールスを務めます。まず、「下関のふく」五つのなぜを紹介しましょう。

(1)なぜ、下関では「ふぐ」といわず「ふく」というのですか？
：韓国語で、ふくのことをポゴといい、日本に渡ってフクとなった説や、平安時代の辞書に布久の記述があったこと、膨れる、ふくべ(ひょうたん)に似ているなど、諸説あります。クの発音が苦手な関東では「フグ」と呼ぶようになり、明治時代、東京築地で行っていたその「フグ」が、魚類図鑑に掲載される名称に決まりました。これが、標準和名となったそうです。

(2)なぜ、下関は「ふくの市場」なのですか？
：戦国時代に豊臣秀吉が最初にふく食を禁止したのも、明治時代に内閣総理大臣・伊藤博文がふく食を解禁したのも、場所は下関でした。古くから交通の要所として栄えた下関は、ふくの集散地としても発展しました。(3)なぜ、ふくには毒があるのですか？
：ふくは食物連鎖で自ら

の命を守るために毒をためています。ふくは種類などで毒のある部位と強さが異なりますが、ふく毒は青酸カリの1000倍といわれています。免許を持った調理師がふくを安全に処理しています。

(4)なぜ、南風泊のふく市場ですか？
：袋を使った競りをしているのですか？
：袋の中で値段を指で確かめながら、エーカ、エーカの掛け声で競りをします。南風泊では伝統的にこの「袋競り」が行われ、下関の風物詩になっています。

(5)なぜ、ふくの漢字は「河豚」と書くのですか？
：中国の揚子江である種類のふくが春に産卵のために遡上すること。おいしい魚で豚のように丸々していること。豚の鳴き声のように「キュー」と鳴くことなどが理由のようです。



後、私が指南役を務める「市民向け「ふく料理教室」(13歳参照)の開催や、ふく、うに、くじら、あんこう、いかなど食をテーマに下関の最高級食材を集めたオリジナルフルコース料理「下関 満閑善席」の提供、観光客にふくの魅力をより詳しく紹介する「美味ふく下関」など、「ふく市長」としてさまざまなキャンペーンを行っています。

中尾市長の似顔絵を募集しています。作品と、住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を、広報広聴課(〒750-8552 市内南部町1番1号)へお寄せください。



下関の登録有形文化財

玉椿旅館

下関市豊浦町大字川棚5132



1610年の記録に既に「温泉場」として記されている川棚。川棚湯町にある玉椿旅館は、大正10年ごろに開業した温泉旅館です。その後増築を重ね、まるで迷路のような現在の建物が出来上がりました。

玉椿旅館を営んだのは、大阪相撲で鳴らした元関取・玉椿光太郎。新しい横綱が誕生するたび、その名を付した客室を新たに設けたと伝わります。相撲が盛んな豊浦町ならではのエピソードです。

登録文化財の保存では、外観



を受け継いでいくことに重きを置いています。時に内部についても評価されることがあり、玉椿旅館の大広間がその典型例として挙げられます。このような木造の大広間は、技術的な発展や裏付けがないと成立し得ないものです。玉椿旅館を含む近代和風建築と呼ばれる建物が成熟を迎えるのは、大正後期から昭和初期にかけてだと言われています。

歴史ある温泉と大広間を味わい、一度玉椿旅館を訪れてみてはいかがでしょうか。

岡玉椿旅館 ☎772-00005

※登録有形文化財…地域のシンボルとなっている建物など、特にその保存と活用が必要とされる身近な歴史的建造物のうち、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録した建築物や土木構造物などのこと